



水戸芸術館  
ART TOWER MITO

2025 年 6 月 5 日  
水戸芸術館 ACM 劇場

報道関係各位

## 深作組+水戸芸術館 プロデュース公演 『フェードラー炎の中でー』稽古場見学とインタビュー取材のお願い

水戸芸術館 ACM 劇場では、7 月 5 日（土）、6 日（日）、日本初演となるドイツ演劇『フェードラー炎の中でー』の上演に先駆けて、稽古場の公開とインタビュー取材の機会を設けます。

本公演は、本作が初舞台にして初主演となるフリーアナウンサーの堀井美香をヒロインに迎え、演出は茨城にゆかりのある深作健太が手掛けるもので、水戸芸術館と銚仙会能楽研修所（東京表参道）で上演いたします。ドイツ演劇でありながら、ステージには能舞台を使用するという演出にも、深作健太のビジュアルセンスが光る舞台となっています。

現在、東京のスタジオにて稽古を行っており、下記の通り報道関係者の皆様に稽古場の様子を公開いたします。稽古後、主演の堀井美香、演出の深作健太へのインタビューをしていただけますので、ぜひこの機会に貴媒体にてご取材いただけますようお願い申し上げます。

### 『フェードラー炎の中でー』稽古場見学、取材 実施概要

【日時】2025 年 6 月 18 日（水）17:30～20:00

【場所】東京都 有楽町線 江戸川橋駅近辺 ※稽古場の詳細はご参加の方にお伝えいたします。

【参加者】堀井美香、ほか主要キャスト（市川蒼、白又敦、佐竹桃華、宮地大介、加藤頼）  
深作健太（演出）、櫻井琢郎（水戸芸術館演劇部門芸術監督）

#### 【内容（予定）】

- 17:30 稽古場にてプレス受付
- 18:00 立ち稽古見学 ※簡単なセットの中で実際に演じる稽古です。
- 19:00 稽古終了
- 19:15 堀井美香、深作健太の両名へインタビュー ※写真撮影の可否は現在確認中です。
- 20:00 終了

参加ご希望の方は、前日までに下記までお電話、またはメールにてご連絡ください

---

【取材お申込み】水戸芸術館 広報係 山本・竹之内 Tel.029-227-8111（代表）

kouhou@arttowermito.or.jp

【企画に関するお問合せ】 同 演劇部門 櫻井 Tel.029-227-8123（演劇部門）

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8

## ◆キャスト プロフィール

### 堀井 美香（ほりい みか） <フェードラ役>



1972 年、秋田県生まれ。'95 年 TBS にアナウンサーとして入社し、2022 年に退社しフリーに。現在は数々の人気番組や CM のナレーションのほか、ジェーン・スーさんとの Podcast 番組『OVER THE SUN』が幅広い世代の女性からの圧倒的支持を集める。全国の児童養護施設などを絵本読み聞かせで周るほか、ライフワークとして自身が主催する語りの会『yomibasho project』はチケットが即完するほどの人気。12 月 13 日 14 日の 2 日間、東京三越劇場で 6 回目の公演も予定されている。著書に『一旦、退社。～50 歳からの独立日記』（大和書房）、『音読教室』（カンゼン）、『聴きポジのススメ』（徳間書店）。

## ◆ スタッフプロフィール

### 演出：深作 健太（ふかさく けんた）



1972 年、東京都生まれ。2000 年、父・深作欣二のもと脚本・プロデューサーとして、映画『バトル・ロワイアル』を制作。第 24 回日本アカデミー賞優秀脚本賞、第 20 回藤本賞新人賞受賞。03 年、撮影中に逝去した父の跡を継ぎ『バトル・ロワイアルⅡ【鎮魂歌】』で監督デビュー。第 58 回毎日映画コンクール脚本賞受賞。

以降、映画、演劇、オペラなど、多彩なジャンルの作品を演出している。主な映画作品に、『同じ月を見ている』（05）、『僕たちは世界を変えることができない。』（11）主な演劇作品に、『罨』（10・17・24）、主なオペラ作品に、『ダナエの愛』（15）、『ローエングリン』（18）、『フィデリオ』（20）、『さまよえるオランダ人』（25）21 年ドイツ演劇を上演するユニット〈深作組〉を始動。

水戸芸術館では、『音楽劇 夜のピクニック』（16・20）、『ファンファーレ!! 響き続けた吹奏楽部の物語』（23）のほか、共同制作として、『ノラ ーあるいは、人形の家ー』（24）を演出している。

深作組+水戸芸術館 プロデュース公演

『フェードラー炎の中で』

<ストーリー>

太古の〈生贄〉の儀式、ファルマコスが復活しようとしている。英雄であるアテナイの王テーセウスの美しき妻・フェードラは、深い喪失感に囚われていた。人生の喜びを取り戻したい。そんな彼女の前に、長男デモフォーンの許嫁ペルセアが現れる。ペルセアは若く、反抗的な女性である。フェードラはまるで事故に遭ったように、彼女を愛してしまう。— 痛いほど激しく、炎のように熱烈に。一方、野心家である神々の司祭パノペウスは、心優しき次男アカマースの口から、フェードラとペルセアの禁断の愛を知り、狂喜する。やがて運命の歯車は、すべての人物を巻き込み、衝撃のクライマックスに向かって動き始める。

※本作は2024年に〈ドイツ・ヒロイン三部作〉として上演された『ノラあるいは、人形の家 - 』、『ルール地霊・パンドラの箱』に続く三作目、完結編にあたります。

<公演概要>

【日時】 7月5日(土)・6日(日) 両日 14:00 開演

【会場】 水戸芸術館 ACM 劇場 (特設能舞台)

【料金(全席指定)】

S席(正面 1・2 階席) 7,500 円

A 席(脇正面 1・2 階席) 6,500 円

【作】 ニノ・ハラティシュヴィリ

【翻訳・ドラマトウルク】 大川珠季

【演出】 深作健太

【音楽・演奏】 西川裕一

【出演】 堀井美香

市川 蒼

白又 敦

佐竹桃華

宮地大介

加藤 頼

【チケット取扱い】

水戸芸術館 (9:30 ~ 18:00 / 月曜休館)

【窓口】 エントランスホール内チケットカウンター

【電話】 チケット予約センター Tel. 029-225-3555

【Web】 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

